



滋賀県レイカディア大学 同窓会 湖東支部会報

令和2年1月1日

共に歩もう 健康人生 感動人生



新年の挨拶



湖東支部長
児玉正孝

新年あけましておめでとうございます。昨年は、台風十五号・十九号に代表される風水害の多い年でした。皆さんも事無く自然災害の少ない郷土に改めて感謝されたのではないのでしょうか。

さて、令和元年度は、四十期生十五名の方に入会いただきました。最近の卒業生の皆さんは、サポートの会にも入会され、在校生の授業支援・仲間づくり・地域のボランティア活動と、幅広く活動されています。

当支部も確実に世代交代が進んでいます。犬上・愛知分会も、ここ三〜四年新入会員が続ぎ、年代層に繋がりが出てきたと喜んでいきます。

他方、昨年の米原校は、四十二期生の入学者が少なく、北近江文学化学科が休講となりました。米原校管轄の近江八幡市以北の同窓会四支部は、四十三期学生募集では、北近江文学化学科復活が大きな目標となります。

学生募集も、昨年引き続きチラシ配布、同窓会員一人ひとりの知人・友人への声掛けをお

願いし、会員皆さんの自治会・老人会・各種サークルでの学校紹介が必要と思っています。

令和元年度の行事は、全て計画通り実施できました。これも会員皆さまのご支援ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

年間行事として作品展、びわ湖岸清掃、彦根総おどり参加、支部親善GG大会、新会員歓迎会、研修旅行等は、一定の参加者を得て、行事の継続に繋がっています。

しかし、一人一回以上の行事参加となればまだまだです。身近な場所で身近な行事が出来ればと思っています。皆さんの地域で、「参加し易く、これなら参加できる」行事があれば、皆さまの担当常任委員の方までご連絡をお願いします。

現行体制は三月で終わり、四月から新体制となります。一月から体制構築に向けての準備と、各分会・各支部の年度総括、次年度の取組み設定が開始されます。

最後になりますが、レイ大卒業生には強い絆と連帯意識、強い行事参加意欲があります。次期新体制に、会員皆さまの旧に倍してのご支援ご協力をお願いする次第です。

併せて、令和二年が皆さまにとって、健康で良き年であります事をお祈りし、年頭の挨拶といたします。

同窓会活動の広場

新会員歓迎会

十月三日、甲良町西明寺門前の「一休庵」にて新会員歓迎会を開催しました。同窓会には15名の方に入会頂き、うち13名の新会員が出席され、熱き自己紹介に始まり、会場は同窓会員によるマジック・よし笛・フラダンスの余興で大いに盛り上がりました。最後には全員で彦根ばやしと江州音頭を踊り、余韻残る中、懇親会は楽しくお開きとなりました。



上：全員集合と新会員の皆さん 下：マジックとよし笛

彦根ばやし二〇一九

八月十日、例年の彦根ばやし総おどり大会に変わる行事が夢京橋キャスルロード四番町スクエアで行なわれ、湖東支部から15名が参加してレイ大の地域共感をアピールしました。



左：清掃風景 上：踊りの皆さん

びわ湖岸清掃活動

七月十六日、彦根松原水泳場付近で支部から20名が参加して、びわ湖岸の環境美化活動を行いました。



湖東支部親睦GG大会

九月二十六日、湖東支部グラウンドゴルフ大会が荒神山公園GG会場で開催され、25名が参加しました。今回も体を動かすには秋晴れの絶好の日でした。普段の運動不足を少しは解消できたかも知れません。

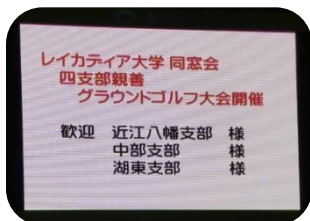
- 優勝 小山美代子
- 2位 中田茂男
- 3位 東平信昭

四支部懇親GG大会

十月十一日、長浜バイオ才大学ドームで、湖東・湖北・中部・近江八幡の四支部の親睦GG大会が開催され、湖東支部からは18名が参加しました。



優勝カップ授与式



歓迎の電光掲示と参加者

研修旅行

十一月二十六日、31名の参加者のもと名古屋市の「トヨタ産業技術記念館」と「熱田神宮」へ研修旅行を行いました。記念館も神宮もコンテンツがあまりにも多いので少し学習の時間が足りなかつたかも知れませんが、お天気に恵まれ晩秋の有意義な一日となりました。



トヨタ産業技術記念館にて



熱田神宮本宮前にて

ボランティア活動

もんぜんサロン

もんぜんサロンは多賀町在住のレイ大卒業生7人のスタッフで、平成二十二年五月にスタートしました。

場所は近江鉄道多賀大社駅前の「もんぜん亭」です。開設後、早や9年が経過して、現在は卒業生9名が運営に携わっております。

このサロンは多賀町内の高齢者の方々が気軽に立ち寄っていただき楽しいひと時を過ごしていただくことを目的に運営されています。開催日は毎月第2火曜日で、参加者は平均20名で、午前中活動されています。

活動内容は多岐に亘っており、歌を唄ったり・折り紙づくり・介護予防体操・手品・紙芝居・クイズなどの頭の体操・デイスコン、輪投げなどのスポーツ・食事会・町外への研修旅行などを行なっております。

スタッフが順番に企画立案して取り組んでおられ、十月八日には多賀町福祉バスを利用して八幡堀めぐりとお菓子のたねやの店舗工場を見学するなど町外研修を行い、楽しまれています。



もんぜん亭とサロン風景

サロン参加者の声です。「身近な場所にあるので行き易く、参加しやすい」「いろいろな方々とおしゃべりや交流ができてこの日はとても楽しい」「今日行くところがある(教育)、今日用事がある(教養)ときは心に張りが生まれ、身だしなみやお化粧なども気になり私たちも何だか少し若返りそんな気持ちになります」と仰っていました。

スタッフの方々は、「サロンをオープンして9年間継続できたのも参加者にどうしたら喜び楽しんで頂けるか、それぞれの立場で一生懸命に考え取り組んできたからだと思います。スタッフも年々歳を重ねますが参加者が喜んでいただけるならば私たちの生きがいも併せ、高齢者福祉の一翼を担って行きたいです。」と語っておられました。

もんぜんサロンの活動は多賀町内では広く広報され知れ渡っています。さらなるご活躍を祈念します。

取材 西澤則彦(健康37期)

桜の町へ一歩一歩

愛荘さくらを守る会

「100年かけて桜一万本の町」をスローガンに町花である「桜」の町づくりを目指している愛荘町では、自主的なボランティア・グループ「愛荘さくらを守る会」が3年前に発足しました。

この会は町から委嘱を受けた2人の桜守りと一般のボランティア21人で構成されています。このうちレイ大卒業者が7人おり、昨秋には、40期園芸科を卒業されたばかりの方にも加入いただきました。会員の高齢化が進む中、若手の新会員の加入は大歓迎です。

愛荘町には河川堤防や学校、公園、神社仏閣などすでに1200本の桜が散在しています。いずれも手入れが行き届かず、老朽木も多量に垂れ下がり、枯れ枝やテング葉病も見受けられる状況でした。そこでまず、これらの桜に手を加えようと剪定作業を始め、会発足前2年間の有志活動を含め延べ1000本を超える桜に手を加えました。あわせて宇曾川堤や公園、図書館などの

公共施設にこれまでソメイヨシノ、枝垂れ桜160本ほど植樹を行いました。

桜のまちづくりは、住民一体で進めるものなので、桜の植樹は年100本の目標で地域や団体など住民の手で行われているものが相当数あり、当会のものを含めると目標は達成できているものと思っています。

また、当会は2021年全国植樹祭用の苗木50本を会員が手分けして育てています。

後世に桜咲き誇るふるさとを夢見て活動を行っています。

会員 村西俊雄(園芸37期)



剪定作業風景と
剪定後の公園の桜

湖東支部「作品展」の出展者と作品

元年7月に開催された作品展には32人から
55点の作品が出品されました。(順不同)

| 氏名 | 卒期学科 | 部門 | 作品 | 氏名 | 卒期学科 | 部門 | 作品 |
|-------|--------|-----|----------|-------|--------|----|------------|
| 外村輝夫 | 28生活 | 点描画 | 広隆寺弥勒菩薩他 | 馬場勝子 | 31スポレク | 手芸 | 着物リメイク2点 |
| 宮川文雄 | 32園芸 | 工芸他 | 木工品、盆栽 | 北河つた宇 | 28生活 | 手芸 | 手まり 押し絵 |
| 森野久章 | 17園芸 | 盆栽他 | 五葉松 写真 | 豊原京子 | 25スポレク | 手芸 | 編み物2点 |
| 木下二二男 | 35 北近江 | 絵画 | 父島の足跡他1点 | 澤 好成 | 35園芸 | 写真 | 癒しの花2点 |
| 竹内和美 | 37 北近江 | 手芸 | 人形 | 木村傳平 | 21スポレク | 文芸 | 流雲吐華月 |
| 岩崎きよ子 | 33園芸 | 盆栽 | 松 | 上野芳樹 | 37園芸 | 工芸 | 伐折羅大将 |
| 小山美代子 | 39健康 | 書 | 漢詩 | 山口義雄 | 37 園芸 | 絵画 | SL |
| 澤邊雅子 | 35 北近江 | 絵画 | 初夏 | 大町千津子 | 39園芸 | 文芸 | 寸松庵色紙 |
| 成宮栄一 | 22園芸 | 工芸 | 瓢箪 | 久保川幸雄 | 32陶芸 | 陶芸 | 壺、花器 |
| 西山秀之 | 27生活 | 文芸 | 俳画 | 須田誠一 | 25園芸 | 工芸 | 竹灯籠3点 |
| 西山重子 | 34健レク | 手芸 | 宝船(戸塚刺繍) | 阿藤文子 | 26スポレク | 工芸 | 瓢箪細工2点 |
| 百田勝彦 | 32地文 | 絵画 | けあらし | 金子美智子 | 34陶芸 | 書 | 延年益壽之春他 |
| 戸嶋滋一 | 36園芸 | 工芸 | 竹灯籠3点 | 杉江久子 | 32生活 | 手芸 | 押し花、デコパージュ |
| 奥村鮎子 | 29生活 | 文芸 | 俳画2点 | 東平宏子 | 32生活 | 手芸 | とりかご |
| 福島将夫 | 34園芸 | 工芸 | 竹灯籠4点、熊手 | 石島 孝 | 31園芸 | 盆栽 | ハゼの木他1点 |
| 大辻利信 | 35園芸 | 工芸 | 竹細工 | 山本 幸 | 33生活 | 手芸 | パッチワーク |

お便り

相手の喜びは

私の心の安らぎ

数年前に近所の畑造りの人から貰った風車をもとにして、見よう見まねで第一作目、三作目と改善を加えた。針金の種類も変更しながらホットボンドでの接着方法を強化して微風でもよく回る様に取り組みました。黄色は鳥などが怖がる色なので、胴体は白、羽根は赤色と黄色のツートンカラーにし、小のペットボトルは1個では面白くないので2連にして右回り、左回りの様に羽根に工夫をしました。

湖東支部や大学祭の作品展に出品して、欲しい方々にお渡ししたところクラスやモグラの脅しに役立つと喜んで頂いています。皆さんから知恵を参考に3作目、4作目と取り組み、今は大のペットボトルで針金も太くし、羽根を長くして8枚でポンドも使わず、メンテナンヌも不要と進化中です。また、2段の黒光りに塗った盆栽台を作り、近所の方々に買って頂き、活用させて頂いています。

これからも人々と繋がりを持ちお互いに助け合える地域づくりを目指して行きます。

宮川文雄(32期園芸学科)

新会員(39期生)ご紹介

園芸学科

植田洋治・川口久隆・川嶋幸泰
黒澤浩明・寺嶋作雄・中嶋 修
中野 仁・中村慶治郎・西村 優
森野昭二・若林吉郎

北近江文化学科

磯嶋節子・田付芳久

健康づくり学科

陶芸学科 成宮克美

北村由子

表紙写真

初詣

多賀大社にて

須田誠一撮影

編集後記

会報の編集を担当するようになったのに写真も文章もパソコンも苦手な私、この2年間、思案の日も多かったですが大過なく、計画通りの日程に発行することができました。

広報部会の方々、会員の皆様のご協力に感謝です。(N・N)

滋賀県レイカディア大学同窓会
湖東支部会報

令和二年一月一日発行

令和元年度第二号

発行責任者 児玉正孝

編集責任者 西澤則彦